



## 2025年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社クオルテック 上場取引所 東  
コード番号 9165 URL <https://www.qualtec.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 友宏  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部本部長 (氏名) 池田 康稔 TEL 072 (226) 7175  
定時株主総会開催予定日 2025年9月26日 配当支払開始予定日 2025年9月29日  
有価証券報告書提出予定日 2025年9月25日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期の業績（2024年7月1日～2025年6月30日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	4,025	11.1	384	0.9	384	4.8	219	△18.6
2024年6月期	3,623	10.7	381	25.3	366	24.1	270	28.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	93.54	—	6.8	9.1	9.6
2024年6月期	115.79	—	9.8	10.0	10.5

(参考) 持分法投資損益 2025年6月期 ー百万円 2024年6月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	4,346	3,277	75.4	1,394.50
2024年6月期	4,140	3,155	76.2	1,342.97

(参考) 自己資本 2025年6月期 3,277百万円 2024年6月期 3,155百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	514	△738	△143	1,370
2024年6月期	637	△429	431	1,738

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	—	0.00	—	42.00	42.00	98	36.3	3.4
2025年6月期	—	0.00	—	37.00	37.00	86	39.6	2.7
2026年6月期（予想）	—	0.00	—	37.00	37.00		32.1	

(注) 2024年6月期期末配当には、記念配当5円00銭が含まれます。

### 3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	9.3	405	5.4	404	5.2	271	23.4	115.43

(注) 当社は年次での業績管理を行っておりますので、通期のみの記載としております。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期	2,350,000株	2024年6月期	2,350,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期	一株	2024年6月期	一株
③ 期中平均株式数	2025年6月期	2,350,000株	2024年6月期	2,332,240株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2025年8月21日に個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明資料は、本日（2025年8月8日）、TDnetで開示するとともに当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、決算説明会の模様及び説明内容については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、景気回復が緩やかに進んでいると考えられます。インバウンド需要が回復し、消費は消費者マインドに弱さがみられるものの堅調な動きを見せております。もっとも、円安の長期化や中国経済の先行き懸念、ウクライナ・中東の地政学的リスク、米国関税の政策運営等、わが国経済を取り巻く世界情勢は依然として予断を許さない状況となっております。

一方、当社を取り巻く環境は、主要顧客が属する自動車業界においては、電動化推進の動きが活発になっております。環境問題に関する脱炭素化への取組も加速しており、特に電力消費削減技術としてパワー半導体の需要が高まっております。パワー半導体は自動車やエネルギー産業での使用が拡大しており、今後も開発競争が続くと見ておりません。

このような状況で、当社は主力事業である信頼性評価事業において成長戦略に向けた拡販体制増強を図り、車載及び半導体産業を中心に顧客需要に積極的に対応してまいりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高4,025,193千円（前年同期比11.1%増）、営業利益384,786千円（同0.9%増）、経常利益384,423千円（同4.8%増）、当期純利益219,807千円（同18.6%減）となりました。売上高と営業利益は共に過去最高額を更新し、増収増益となりました。当期純利益は投資有価証券評価損等の特別損失の影響により減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当事業年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

#### （信頼性評価事業）

信頼性評価事業では、パワーサイクル試験において主要顧客からの受注が好調に推移していることや顧客の内製化の動きにより、過去販売したパワーサイクル試験装置の改造案件が業績を牽引しました。信頼性試験では、顧客要望に対応した試験メニューの拡大により受注が順調に推移しました。断面研磨も引き続き順調な受注推移となっております。売上原価は成長戦略に向けた拡販体制増強により費用が膨らむも、売上総利益は増益となりました。この結果、当事業年度の業績は、売上高3,553,606千円（前年同期比11.2%増）、営業利益1,061,076千円（同7.8%増）となりました。

#### （微細加工事業）

微細加工事業では、レーザ加工において試作品加工が堅調な受注を獲得しております。また、当事業年度より当セグメントとなった表面処理技術においては、主要顧客の開発案件受注が好調に推移したことにより業績に寄与しました。売上原価は減価償却費が減少し、売上総利益は増益となりました。この結果、当事業年度の業績は、売上高413,667千円（前年同期比8.2%増）、営業利益184,725千円（同42.3%増）となりました。

#### （その他事業）

その他事業では、バイオにおいて厚生労働省案件である医療用消耗品の信頼性試験受注が好調に推移したことにより、売上高が大きく伸長しました。この結果、当事業年度の業績は、売上高57,919千円（前年同期比25.4%増）、営業損失13,422千円（前年同期は営業損失19,091千円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当事業年度末における総資産は4,346,082千円となり、前事業年度末に比べ205,351千円増加いたしました。

流動資産は2,522,985千円となり、前事業年度末に比べ371,020千円減少いたしました。これは主に「売掛金」106,319千円増加、「現金及び預金」367,757千円減少、「電子記録債権」60,745千円減少及び「仕掛品」53,362千円減少によるものであります。固定資産は1,823,096千円となり、前事業年度末に比べ576,371千円増加いたしました。これは主にパワエレクトロニクスセンター開設に係る工事や分析・試験設備等の取得に伴う「工具、器具及び備品」272,390千円、「建物」265,608千円、「リース資産」96,255千円の増加、及び「投資有価証券」49,999千円減少によるものであります。

## (負債)

当事業年度末における負債は1,068,995千円となり、前事業年度末に比べ84,243千円増加いたしました。

流動負債は665,933千円となり、前事業年度末に比べ23,178千円減少いたしました。これは主に分析・試験設備の取得等に伴う「未払金」109,573千円増加、「未払費用」61,759千円減少、「未払法人税等」52,741千円減少及び「1年内返済予定の長期借入金」12,500千円減少によるものであります。固定負債は403,062千円となり、前事業年度末に比べ107,422千円増加いたしました。これは主に「リース債務」76,650千円増加及び「退職給付引当金」21,915千円増加によるものであります。

## (純資産)

当事業年度末における純資産は3,277,086千円となり、前事業年度末に比べ121,107千円増加いたしました。

これは主に「当期純利益」219,807千円の計上及び剰余金の配当98,700千円によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により514,294千円増加、投資活動により738,718千円減少、財務活動により143,344千円減少の結果、前事業年度末に比べ367,768千円減少し1,370,466千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は514,294千円（前年同期は637,627千円の増加）となりました。これは主に「減価償却費」346,142千円及び「税引前当期純利益」314,886千円の資金の増加と、「未払費用の減少額」61,759千円、「売上債権の増加額」39,697千円及び「未払又は未収消費税等の増減額」33,843千円の資金の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は738,718千円（前年同期は429,881千円の減少）となりました。これは主にパワエレクトロニクスセンター開設等に伴う「有形固定資産の取得による支出」734,279千円の資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は143,344千円（前年同期は431,516千円の増加）となりました。これは主に「配当金の支払額」98,363千円及び「長期借入金の返済による支出」30,000千円の資金の減少によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

当社は、「分析・評価・加工の技術を磨き、表面処理・実装の開発を推進し、パワー半導体・医療機器・二次電池の分野で確固たるポジションを築き、未来品質の創造に貢献する。」を経営方針に掲げ、一人ひとりのお客様を大切に、オーダーメイドのソリューションを目指します。

信頼性評価事業では、2024年11月に竣工したパワエレテクノセンターの本格稼働、環境試験機の増設、引き続き高いニーズが見込まれる分析・解析、断面研磨の受注伸長などにより売上増加を見込んでおります。微細加工事業では、医療機器関係の案件獲得に向けての活動を進めます。その他事業では、パイオにおいて信頼性試験の拡張を進めます。

営業活動では、熊本営業所を開設した九州地区の半導体や電子部品メーカーへの販路拡大や同業他社空白地帯（北海道、東北、中四国）への積極的な営業展開により、新規顧客や新規分野の開拓に取り組めます。

研究開発分野では、実装や表面処理に関する研究開発を推進し、知財戦略を強化します。新規事業開発では、次世代半導体基板開発において当社が強みとしている分析・解析で貢献するとともに、新たに、当社は2025年7月から次世代成長事業として、ユニバーサルめっき法（当社独自開発）によるコーティング技術の開発「MAP (Mist-Assisted universal Plating) プロジェクト」を始動いたしました。近年、次世代成長産業は、原材料や装置等のコスト急騰によりそのコア事業の継続が難しく、また環境規制への対応も今まで以上に企業に求められています。本プロジェクトでは、次世代成長産業を支えるための低コストかつ安定供給可能な環境配慮型技術の確立を目指します。このユニバーサルめっき法により、高品質で緻密な機能性膜の形成が可能となり、「通信」「半導体」「医療」「航空宇宙」「再エネ」等次世代成長産業の発展へ大きく寄与できる可能性があります。

以上により、翌事業年度（2026年6月期）の業績予想につきましては売上高4,400百万円、営業利益405百万円、経常利益404百万円、当期純利益271百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当事業年度 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,902,763	1,535,006
受取手形	9,430	3,554
電子記録債権	130,051	69,305
売掛金	622,153	728,473
仕掛品	156,675	103,312
原材料及び貯蔵品	22,365	22,901
前払費用	52,834	56,983
その他	7,744	12,463
貸倒引当金	△10,012	△9,015
流動資産合計	2,894,005	2,522,985
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	375,198	640,807
構築物（純額）	7,537	32,273
機械及び装置（純額）	315,121	290,228
車両運搬具（純額）	1,426	1,850
工具、器具及び備品（純額）	222,188	494,578
リース資産（純額）	7,622	103,877
建設仮勘定	2,128	—
有形固定資産合計	931,222	1,563,615
無形固定資産		
ソフトウェア	21,933	27,120
その他	9,033	0
無形固定資産合計	30,967	27,120
投資その他の資産		
投資有価証券	49,999	0
関係会社株式	0	0
出資金	110	110
破産更生債権等	0	0
長期前払費用	24,004	19,639
繰延税金資産	169,185	172,938
その他	41,236	39,672
投資その他の資産合計	284,535	232,360
固定資産合計	1,246,725	1,823,096
資産合計	4,140,730	4,346,082

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当事業年度 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,087	233
短期借入金	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	17,500
リース債務	14,611	34,269
未払金	158,392	267,965
未払費用	158,858	97,099
未払法人税等	109,600	56,858
契約負債	9,185	9,354
預り金	18,692	22,664
賞与引当金	19,479	25,181
役員賞与引当金	8,200	9,200
その他	41,004	5,606
流動負債合計	689,111	665,933
固定負債		
長期借入金	17,500	—
リース債務	15,072	91,722
長期未払金	16,425	17,055
退職給付引当金	136,418	158,333
役員退職慰労引当金	13,049	18,072
資産除去債務	97,174	117,878
固定負債合計	295,640	403,062
負債合計	984,751	1,068,995
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	392,100	392,100
資本剰余金		
資本準備金	1,066,550	1,066,550
資本剰余金合計	1,066,550	1,066,550
利益剰余金		
利益準備金	14,481	14,481
その他利益剰余金		
特別償却準備金	1,955	—
別途積立金	23,000	23,000
繰越利益剰余金	1,657,891	1,780,955
利益剰余金合計	1,697,328	1,818,436
株主資本合計	3,155,978	3,277,086
純資産合計	3,155,978	3,277,086
負債純資産合計	4,140,730	4,346,082

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,623,929	4,025,193
売上原価	2,521,034	2,786,295
売上総利益	1,102,895	1,238,897
販売費及び一般管理費	721,571	854,111
営業利益	381,323	384,786
営業外収益		
受取利息	4	63
受取配当金	270	4
受取保険金	497	—
補助金収入	81	243
固定資産売却益	149	837
その他	552	254
営業外収益合計	1,555	1,403
営業外費用		
支払利息	1,486	1,555
上場関連費用	7,677	—
株式交付費	7,022	—
その他	13	211
営業外費用合計	16,199	1,766
経常利益	366,679	384,423
特別利益		
投資有価証券売却益	2,256	—
保険解約返戻金	8,995	—
特別利益合計	11,251	—
特別損失		
固定資産除却損	266	5,332
減損損失	4,043	7,239
投資有価証券評価損	—	49,999
事務所移転費用	—	6,966
特別損失合計	4,310	69,537
税引前当期純利益	373,620	314,886
法人税、住民税及び事業税	121,102	98,832
法人税等調整額	△17,524	△3,753
法人税等合計	103,577	95,078
当期純利益	270,042	219,807

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備 金	利益剰余金			利益剰余 金合計	
		資本準備 金	資本剰余 金合計		その他利益剰余金				
					特別償却 準備金	別途積立 金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	100,000	774,450	774,450	14,481	12,101	23,000	1,455,403	1,504,986	2,379,436
当期変動額									
新株の発行	292,100	292,100	292,100						584,200
剰余金の配当							△77,700	△77,700	△77,700
当期純利益							270,042	270,042	270,042
特別償却準備金の取崩					△10,145		10,145	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	292,100	292,100	292,100	—	△10,145	—	202,488	192,342	776,542
当期末残高	392,100	1,066,550	1,066,550	14,481	1,955	23,000	1,657,891	1,697,328	3,155,978

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	932	932	2,380,368
当期変動額			
新株の発行			584,200
剰余金の配当			△77,700
当期純利益			270,042
特別償却準備金の取崩			—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△932	△932	△932
当期変動額合計	△932	△932	775,610
当期末残高	—	—	3,155,978

当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備 金	利益剰余金			利益剰余 金合計	
		資本準備 金	資本剰余 金合計		その他利益剰余金				
					特別償却 準備金	別途積立 金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	392,100	1,066,550	1,066,550	14,481	1,955	23,000	1,657,891	1,697,328	3,155,978
当期変動額									
新株の発行									—
剰余金の配当							△98,700	△98,700	△98,700
当期純利益							219,807	219,807	219,807
特別償却準備金の取崩					△1,955		1,955	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	△1,955	—	123,063	121,107	121,107
当期末残高	392,100	1,066,550	1,066,550	14,481	—	23,000	1,780,955	1,818,436	3,277,086

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	—	—	3,155,978
当期変動額			
新株の発行			—
剰余金の配当			△98,700
当期純利益			219,807
特別償却準備金の取崩			—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	—	—	—
当期変動額合計	—	—	121,107
当期末残高	—	—	3,277,086

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	373,620	314,886
減価償却費	318,087	346,142
減損損失	4,043	7,239
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,256	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	49,999
移転費用	—	6,966
固定資産除却損	266	5,332
保険解約返戻金	△8,995	—
上場関連費用	7,677	—
株式交付費	7,022	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,868	△997
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,854	5,702
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,200	1,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	25,068	21,915
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,689	5,023
受取利息及び受取配当金	△274	△67
支払利息	1,486	1,555
売上債権の増減額 (△は増加)	△147,226	△39,697
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△60,581	52,826
仕入債務の増減額 (△は減少)	493	△854
未払金の増減額 (△は減少)	18,186	△16,107
未払又は未収消費税等の増減額	22,832	△33,843
未払費用の増減額 (△は減少)	30,143	△61,759
その他	19,600	15,223
小計	630,806	680,486
利息及び配当金の受取額	175	67
利息の支払額	△879	△1,297
移転費用の支払額	—	△6,966
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	7,524	△157,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	637,627	514,294
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△164,528	△164,539
定期預金の払戻による収入	164,525	164,528
有形固定資産の取得による支出	△374,142	△734,279
有形固定資産の売却による収入	—	972
無形固定資産の取得による支出	△18,338	△6,242
投資有価証券の取得による支出	△50,447	—
投資有価証券の売却による収入	11,359	—
保険積立金の解約による収入	21,802	—
その他	△20,112	841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△429,881	△738,718
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△27,745	△14,980
株式の発行による収入	574,640	—
配当金の支払額	△77,700	△98,363
上場関連費用の支出	△7,677	—
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	431,516	△143,344
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	639,262	△367,768
現金及び現金同等物の期首残高	1,098,972	1,738,234
現金及び現金同等物の期末残高	1,738,234	1,370,466

- (5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前題に関する注記)  
該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
関連会社に対する投資の金額	4,900千円	4,900千円
持分法を適用した場合の投資の金額	—	—
持分法を適用した場合の投資損失の金額	—	—

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取扱う製品・サービスの観点から事業を区分し、各事業部門が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業別のセグメントから構成されており、「信頼性評価事業」、「微細加工事業」の2つを報告セグメントとしております。

「信頼性評価事業」は、電子部品等に対する環境試験、電気試験、振動試験等からなる信頼性評価試験、良品・不良解析、試験素材切断と切断面の研磨加工、試験機製造販売等を行っております。「微細加工事業」はビルドアップ基板やフレキシブルプリント基板等に対する試作・量産レーザ加工や、新しい材料や最先端の材料への表面加工処理の条件出しから試作まで請け負っている表面処理技術を行っております。

当事業年度より、組織シナジーの最大化を目的とした2024年7月1日付の組織変更に伴い、従来「その他」に区分していた表面処理技術を「微細加工事業」に変更しております。

なお、前事業年度のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	信頼性評価 事業	微細加工 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,195,273	382,478	3,577,752	46,177	3,623,929	—	3,623,929
外部顧客への売上高	3,195,273	382,478	3,577,752	46,177	3,623,929	—	3,623,929
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,195,273	382,478	3,577,752	46,177	3,623,929	—	3,623,929
セグメント損益	984,639	129,825	1,114,465	△19,091	1,095,374	△714,050	381,323
セグメント資産	1,631,259	188,890	1,820,149	40,486	1,860,636	2,280,094	4,140,730
その他の項目							
減価償却費	243,343	47,819	291,162	1,119	292,282	25,805	318,087
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	317,965	11,556	329,522	5,322	334,844	64,055	398,899

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオ、ゼロ・イノベーション等を含んでおります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) セグメント損益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、研究開発や本社の設備投資額等であります。
3. セグメント損益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	信頼性評価 事業	微細加工 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,553,606	413,667	3,967,274	57,919	4,025,193	—	4,025,193
外部顧客への売上高	3,553,606	413,667	3,967,274	57,919	4,025,193	—	4,025,193
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,553,606	413,667	3,967,274	57,919	4,025,193	—	4,025,193
セグメント損益	1,061,076	184,725	1,245,801	△13,422	1,232,379	△847,592	384,786
セグメント資産	2,088,354	220,466	2,308,820	13,399	2,322,220	2,023,861	4,346,082
その他の項目							
減価償却費	262,503	31,193	293,696	1,367	295,063	51,079	346,142
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	809,996	12,344	822,341	9,475	831,816	152,968	984,784

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオ、ゼロ・イノベーション等を含んでおります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) セグメント損益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に新規事業開発や研究開発の設備投資額等であります。
3. セグメント損益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## （1株当たり情報）

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	1,342.97円	1,394.50円
1株当たり当期純利益	115.79円	93.54円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
当期純利益（千円）	270,042	219,807
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	270,042	219,807
普通株式の期中平均株式数（株）	2,332,240	2,350,000

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。